

平成15年11月14日

ご縁をいただいた方々各位 殿

「借方・貸方」がよくわからない人に「仕訳」ができるようになってもらう

簿記セミナー開催のご案内

細井隆好税理士事務所

所長 細井 隆好

平素は細井税理士事務所にご縁をいただき誠にありがとうございます。

突然ですが、上記「簿記セミナー」を企画いたしました。その趣旨、研修内容は表題のとおりですが、少し詳しく「研修にあたってのメッセージ」で述べてみました。

内容の一部はYTAメモで発表したものですが、今回、2時間半の簿記セミナーとして詳しく解説しようと思います。教材として別紙「わらしべ長者」を使い、これまでに無い「簿記論」を展開いたします。

なお、受講いただける方の都合を考えて昼の部と夜の部を用意しました。昼の部は途中で休憩を二回はさんで午後5時30分頃まで、夜の部は休憩一回をはさんで午後8時40分頃までの予定です（夜の部は会場の都合で2時間程度となります）。

多数ご参加いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時 平成15年12月1日（月）

午後1時30分より：「YTAメモ」より「体」（心・技・体のうち）

午後2時30分より：「借方」「貸方」がわかる「簿記」セミナー 昼の部

午後6時30分より：「借方」「貸方」がわかる「簿記」セミナー 夜の部

場 所 愛知県中小企業センター 7階第4会議室（定員45人）

名古屋市東区中村区名駅4-4-39（名古屋駅徒歩5分）

TEL 561-4121

会 費 3,000円（資料代含む。なお、食事等の準備は予定しておりません）

申 込 ご出席いただける方は資料準備の都合上、11月28日（金）までに電話またはFAXにてご連絡ください。

TEL 561-1759 FAX 582-6368

研修会に出席します（どちらかを○で囲んでください）。 昼の部 夜の部

氏 名 ( )

( )

( )

参考

# 研修にあたってのメッセージ

「簿記」というと、「難しい」「細かい」「めんどろ」「おもしろくない」などマイナスイメージをもたれる方が多いと思います（だから会計事務所に経理を頼んでいる?!ごもつとも）。

一方で財務に強い経営者が求められ、決算書の読み方についての書籍やセミナーがよく売られています。パソコンや会計ソフトの進歩・普及により「簿記」を習ったことがなくても会計帳簿が作れるようになりました。決算書など財務諸表（いわゆる会計学）の勉強が求められ、取引の記録技術（いわゆる簿記論）はおろそかにされているように思います。

ところで、財務諸表は経営の成績表であるために、当期損益という「結果」に振り回される傾向があります。それを分析するには当期損益を導き出した取引（仕訳）を理解しなければいけません。

簿記にマイナスイメージをもたれる方の大半は仕訳の「借方」と「貸方」がよくわからない、というものでしょう。実際本屋さんで「これならわかる」式の簿記テキストをみても「借方」「貸方」についてきちんと説明されているものを見たことがありません。「仕訳」は「日付」「借方」「貸方」「金額」「摘要」の5要素で構成されているのに取引を理解する柱ともいえるべき「借方とは何か」「貸方とは何か」の説明がなされていません。

このセミナーでは、その疑問にちゃんとお答えします。「借方」「貸方」について「こうしたら理解してもらえらるだろう」という説明方法を見つけました。その一部はY T Aメモに書きましたが、その後の研究成果を含め詳しく説明したいと思います。

「決算書」は読めるが「借方〇〇、貸方〇〇」と言われると外国語を聞いているようでわからない、とおっしゃる経営者や営業の方、現金出納帳はつけられるが簿記の講習は受けたことがない（受けたが「借方・貸方」がよくわからない）、とおっしゃる方、是非ご参加ください（実はそういう方々に理解してもらえて初めて説明方法が効果的かどうかかわかります）。

ご参加いただける方にはこれまで情報発信してきたY T Aメモ（目次付き）を差し上げます。なお「昼の部」開始前にY T Aメモの中から「体」=健康に関する情報を紹介する予定です。これまでに書いた目次を同封します。

追伸

私事で恐縮ですが12月1日で満50歳になります。今回のセミナーはこれまでご縁をいただいた方々に何かメッセージを贈りたい、そんな気持ちで企画しました。日にちにこだわったためスケジュールに無理がありますがこれまで生きてきた中で是非これを伝えたい、それがたまたま「簿記」的思考法でした。詳しいことはセミナーでお伝えします。